

3年図書委員 図書館展示

テーマ：ミステリー



「変な家」 雨穴

普通のミステリー小説とは少し違う、私たちの身近な”家”が舞台の小説です。最初は何の変哲もない家に見えますが、話が進んでいくと共に得体の知れない恐怖に包まれます。映画でも話題になっているため、興味のある人も多いと思います。



「名著奇変」

太宰治の「走れメロス」、中島敦の「山月記」など…誰もが知る名作を次世代の小説家が現代風に進化させて描くホラーミステリー集です。ホラーが苦手でも読めると中高生に人気の小説なのでぜひ読んでみてほしいです！



「人間標本」 湊かなえ

-人間も一番美しい時に
標本にできればいいのにな-
解き明かされる衝撃の事実。
言葉にできない恐怖と美しさ。
『告白』『母性』などで知られるイヤミスの女王、
湊かなえの最高傑作。
覚悟して読んでください！



天久鷹央の推理カルテ 知念実希人

一見超常現象にみえていたオカルト事件を、天才女医の天久鷹央が”病”や特殊な条件、人の思惑を見抜き、サッと解決するところが爽快です。



「ハヤブサ消防団」 池井戸潤

地方の小さな町を舞台にしたミステリー作家VS連続放火犯のお話です。2023年にドラマ化されましたが、ドラマとは少し違った展開もあるのでドラマを見ていた人にもおすすめです！



「沈黙のパレード」 東野圭吾

23年前の少女殺害事件で、沈黙を貫き証拠不十分となった容疑者が何者かに殺されたことから始まります。さまざま登場人物の思いからなるミステリーはとても面白く、映画化されましたが、小説では書かれている視点が違っていたり、それぞれの人物の背景が若干違ったりします。そのため、映画を見た方でも楽しめる作品だと思います。

「容疑者 X の献身」 東野圭吾

物理学者の湯川学がかつての親友である天才数学者の石神が仕掛けた謎に挑む。出来事すべてが複雑に絡み合っており、事件の真相は予測不能。直木賞を受賞したこの作品は読む価値大いにあり。

「10 分間ミステリー」 『このミステリーがすごい!』大賞編

本格派、ホラー、戦記ものなど全 29 作品が詰まった短編集です。気軽に読むことができるので、マイベスト作品を選んでみるのも面白いと思います。

「十角館の殺人」 綾辻行人

どこのミステリーランキングでも常に上位に入っている作品。
ミステリーでしか味わえない衝撃を味わいたいならこれを読むべし。

「私が彼を殺した」 東野圭吾

流行作家・穂高誠が、新進の女流詩人・神林美和子との結婚式当日に毒殺された。
容疑者は3人。
しかし3人が皆「私が彼を殺した」とつぶやく。
はたして真相は…。
加賀恭一郎シリーズ 5 作目。
あなたは真実に迫ることができるのか。

自分で犯人を推理する作品です！！
最後まで面白いのでぜひ読んでみてください！

「777 トリプルセブン」 伊坂幸太郎

やることなすことツキに見放されている殺し屋・七尾。通称「天道虫」と呼ばれる彼が請け負ったのは、超高級ホテルの一室にプレゼントを届けるという「簡単かつ安全な仕事」のはずだった——。時を同じくして、そのホテルには驚異的な記憶力を備えた女性・紙野結花が身を潜めていた。彼女を狙って、非法な裏の仕事を生業にする人間たちが集まってくる……。
そのホテルには、物騒な奴らが群れをなす！

「ブラックショーマンと名も無き町の殺人」 東野圭吾

コロナ禍を舞台に起こる殺人事件。殺されたのは主人公である真世の父親。町おこしの計画がコロナで閉ざされ廃れた商業施設や、マスクを介しての会話など、私たちが苦しめられたあの頃の情景とともに物語は進んでいきます。真世は、事件を解き明かす鍵となる特徴的な叔父と共に、真相にたどり着くことはできるのか……

「告白」 湊かなえ

生徒に娘を殺された教師が復讐をする物語。視点が次々と変わりストーリーが進んでいく構成で、犯人の思考など細かく書かれているのが見所。

「愛美はこのクラスの生徒に殺されたのです」
この告白から始まる娘を亡くした母の復讐、衝撃のラストを、ぜひ体感して頂きたいです。